



# 2014年3月期 第2四半期決算説明会

コムシスホールディングス株式会社

2013年11月13日

I.	2014年3月期 第2四半期決算総括		
1.	第2四半期決算概況ハイライト	.....	1
2.	事業別受注高の詳細	.....	2
3.	事業別売上高の詳細	.....	3
4.	営業利益の詳細	.....	4
II.	2014年3月期 通期計画	.....	5
III.	主要事業者の動向		
1.	NTT設備投資の動向	.....	6
2.	モバイル系設備投資の動向	.....	7
IV.	構造改革「COMSYS WAY α」の進捗状況	.....	8
1.	トップラインの拡大施策	.....	9
2.	ITソリューション事業の取組み	.....	10
3.	社会基盤事業の取組み	.....	11
4.	太陽光発電関連事業	.....	12
V.	株主還元施策及び自己株式の状況	.....	13

## 豊富な繰越工事の完成により増収及び大幅増益

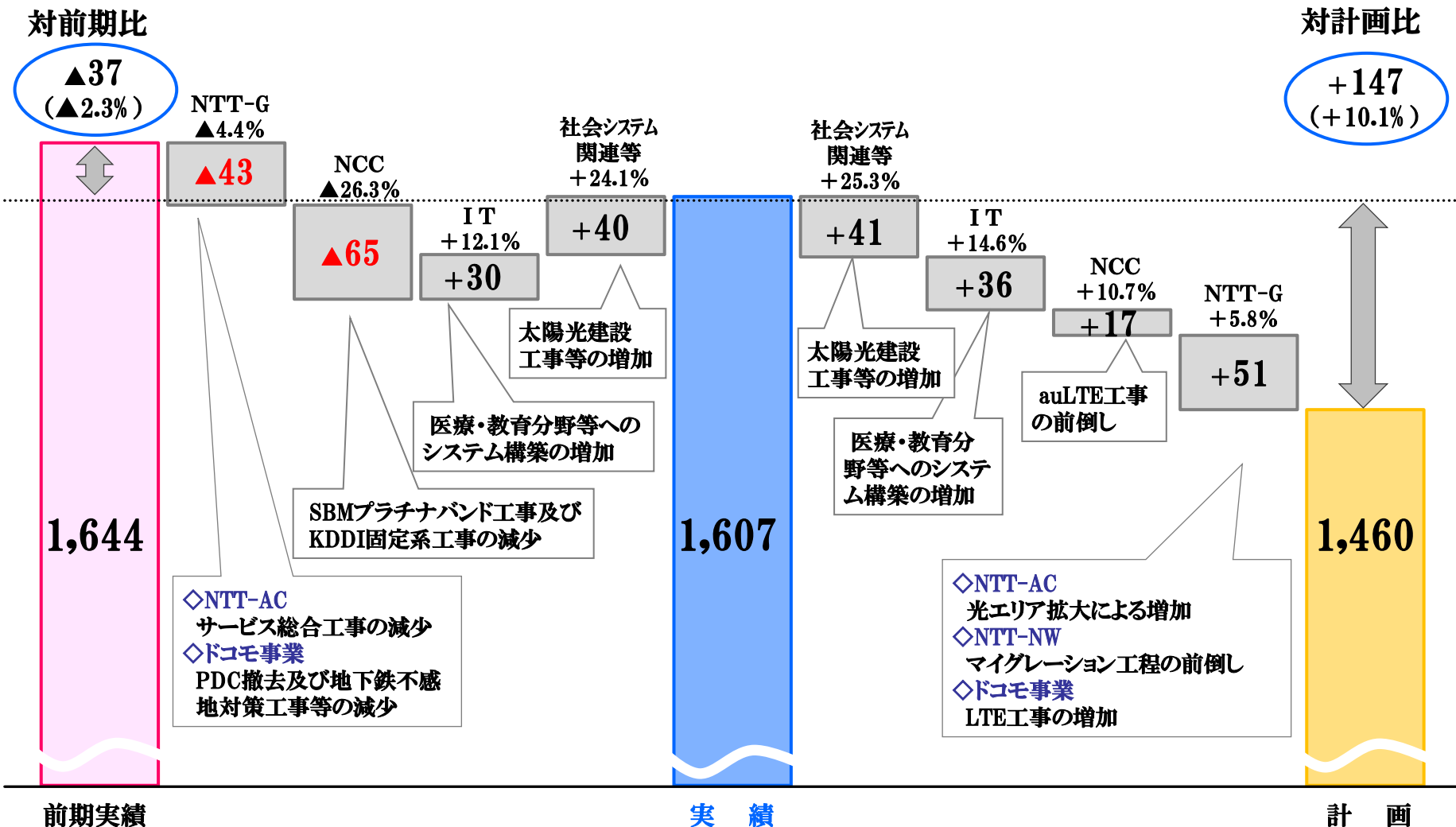
(単位:億円)

	実績 売上高比	前期実績 売上高比	対前期 増減	計画 売上高比	対計画 増減	トピックス
受注高	1,607	1,644	▲37	1,460	+147	<p><b>受注高について</b></p> <p>◇前期にモバイル関連工事の一括受注等があり、対前期比では微減となったが、計画対比ではLTE関連工事等が堅調に推移したことに加え、IT事業・社会基盤事業等のトップラインの拡大施策が好調に推移し大幅に増加。</p>
売上高	1,405	1,322	+83	1,380	+25	
売上総利益	193 13.7%	161 12.2%	+31 +1.5p	178 12.9%	+15 +0.8p	<p><b>売上高について</b></p> <p>◇豊富な繰越工事や太陽光建設工事が完成したことなどにより、対前期比及び対計画比増加。</p>
販管費	86 6.2%	93 7.1%	▲6 ▲0.9p	93 6.7%	▲6 ▲0.5p	
営業利益	106 7.6%	67 5.1%	+38 +2.5p	85 6.2%	+21 +1.4p	<p><b>利益について</b></p> <p>◇売上の増加やプロダクトミックスに加え、これまで実施してきた構造改革「COMSYS WAY<sup>α</sup>」の効果や経費削減により、対前期比及び対計画比はともに大幅な増益を達成。</p>
経常利益	109 7.8%	70 5.4%	+38 +2.4p	87 6.3%	+22 +1.5p	
四半期純利益	61 4.4%	38 2.9%	+23 +1.5p	51 3.7%	+10 +0.7p	

※記載金額は単位未満を切り捨てとしております。

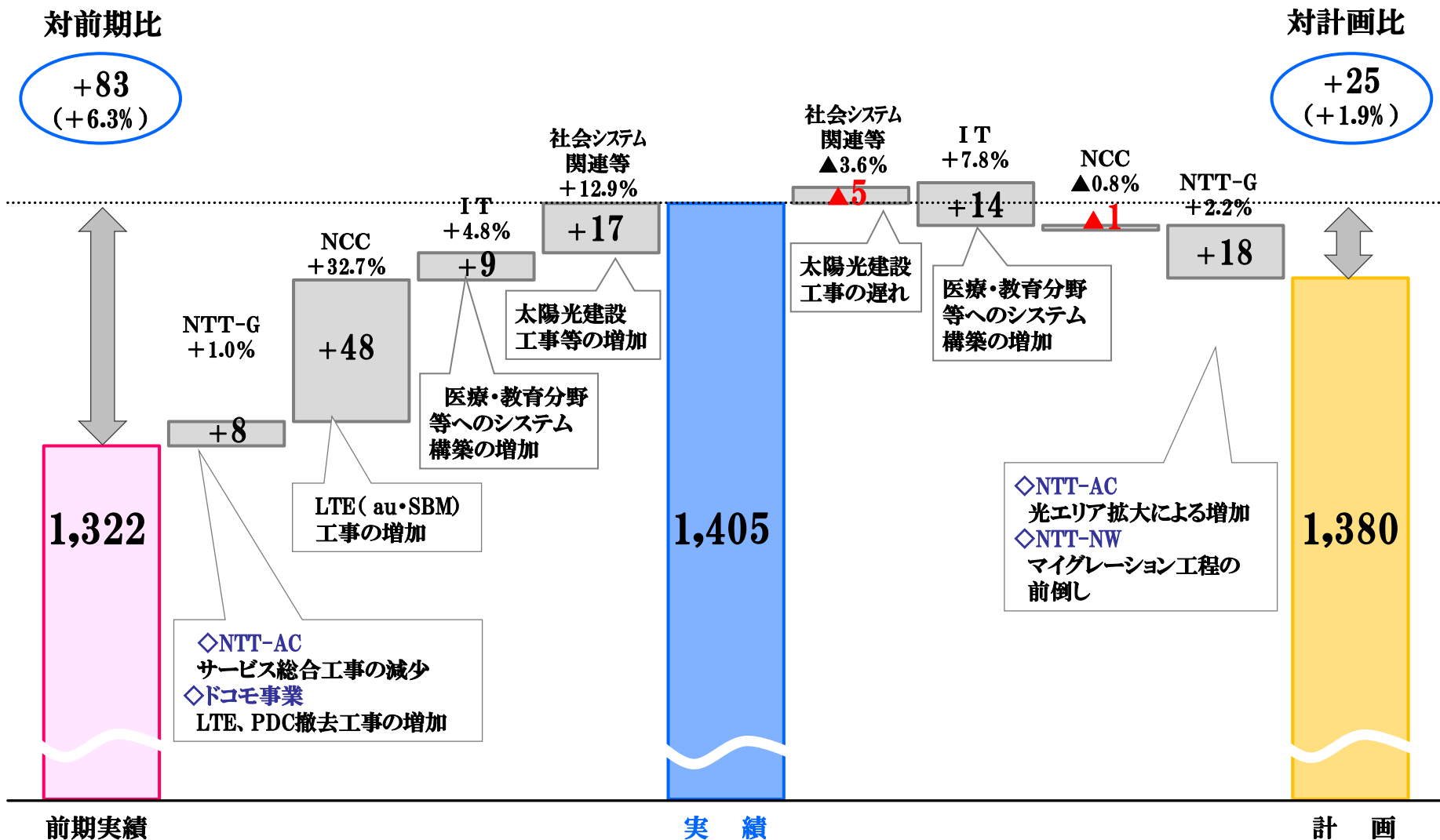
## LTE関連工事とトップラインの拡大により 対計画比大幅増加

(単位:億円)



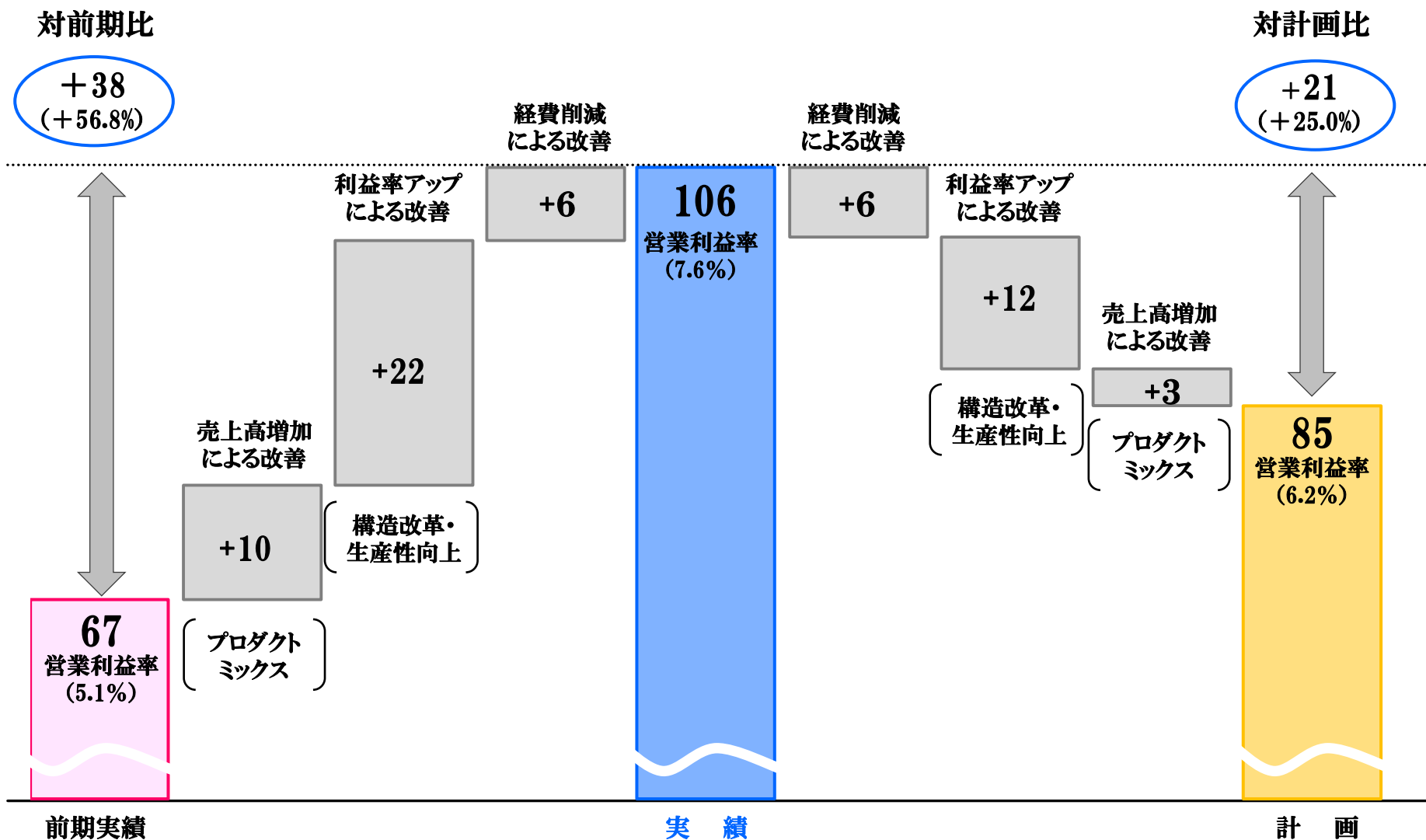
## 豊富な繰越工事の完成により対前期比・対計画比増収

(単位:億円)



## 売上高の増加と構造改革の効果により大幅増益

(単位:億円)



### プロダクトミックスの変化などにより通期計画は据え置き

(単位:億円)

	2013.3期 実績 売上高比	2014.3期 計画 売上高比	対前期 増 減	トピックス
受 注 高	3,356	3,200	▲156	<p><b>受注高について</b></p> <p>◇好調な上期の影響(下期分が上期分へ前倒し)により、下期計画は届かないものの、通期は概ね計画どおり。なお、今後本格化される震災復興工事や東京オリンピックに向けたインフラ構築等は計画に織り込んでいない。</p>
売 上 高	3,160	3,250	+89	
売上総利益	412 13.0%	425 13.1%	+12 +0.1p	<p><b>売上高について</b></p> <p>◇上期の好調な受注と前期からの豊富な繰越工事により概ね計画通り推移する。</p>
販 管 費	186 5.9%	185 5.7%	▲1 ▲0.2p	
営業利益	225 7.1%	240 7.4%	+14 +0.3p	<p><b>利益について</b></p> <p>◇売上高は計画通り推移するものの、プロダクトミックスの変化(IT・社会基盤・NCCの完成増)やアクセス系の収支悪化などのリスクが想定されることから、通期計画は据え置きとする。</p>
経常利益	229 7.2%	245 7.5%	+15 +0.3p	
当 期 純 利 益	132 4.2%	150 4.6%	+17 +0.4p	

※記載金額は単位未満を切り捨てとしております。

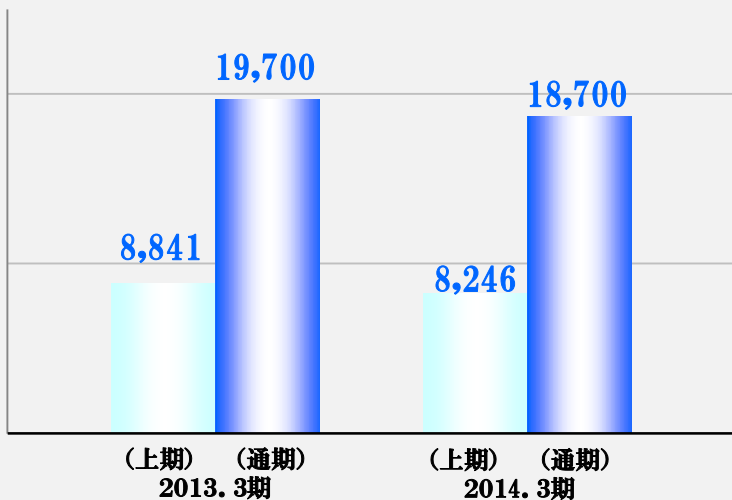
# III-1. NTT設備投資の動向



COMSYS.HD

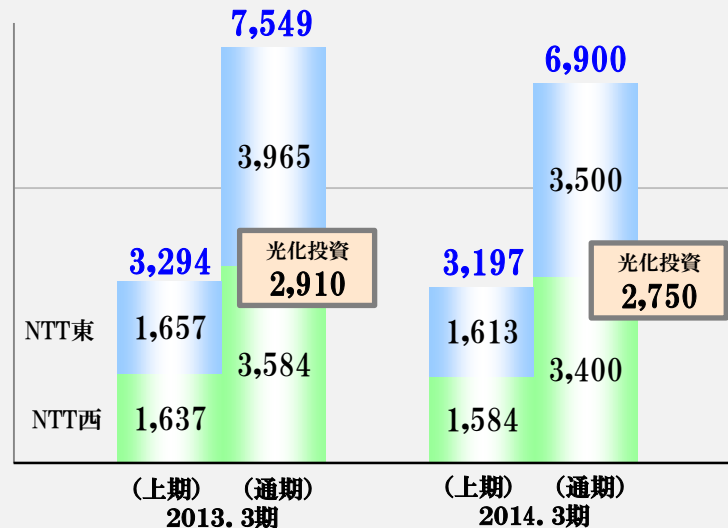
## ◆ NTT連結設備投資額 ◆

(単位:億円)



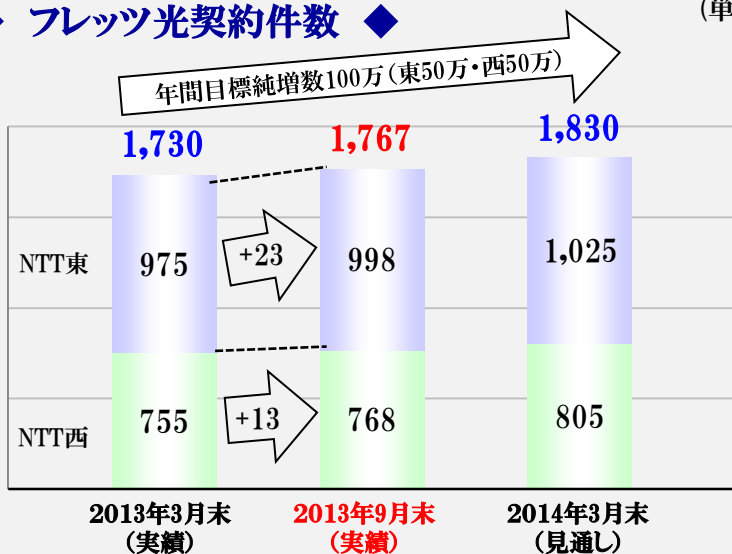
## ◆ NTT東西の設備投資額 ◆

(単位:億円)



## ◆ フレッツ光契約件数 ◆

(単位:万件)



## ◆ NTT連結設備投資額 ◆

・年間設備投資額は期首から変更はなく、上期進捗率は44.1%の8,246億円(前期比▲595億円)

・固定/移動アクセス系のコスト削減は中期目標▲4,000億円(2015.3期までに)以上に対して約7割の進捗(▲2,750億円)

・中期目標を「▲4,000億円以上」から「▲5,000億円(2012.3期比)」に

## ◆ NTT東西の設備投資額 ◆

・NTT東西も設備投資額に変更はなく、NTT東は上期進捗率46.1%の1,613億円(前期比▲44億円)、NTT西は上期進捗率46.6%の1,584億円(前期比▲52億円)

## ◆ フレッツ光契約件数 ◆

・競争力のある価格設定や継続利用促進の取組みにより37万増の累計1,767万契約、NTT東は1,000万契約突破(10月20日)

・中堅中小のビジネス需要の取り込みやWi-Fi活用などの取組みを強化し、年間契約達成を目指す

本頁資料はNTT決算説明会資料より

※記載金額は単位未満を切り捨てとしております。



# Ⅲ-2. モバイル系設備投資の動向

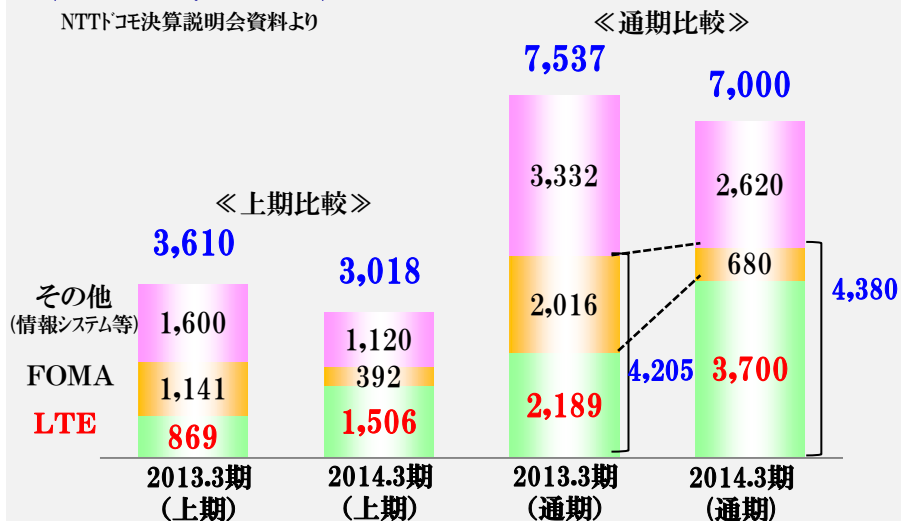


COMSYS.HD

## ◆ NTTドコモ ◆

NTTドコモ決算説明会資料より

(単位:億円)

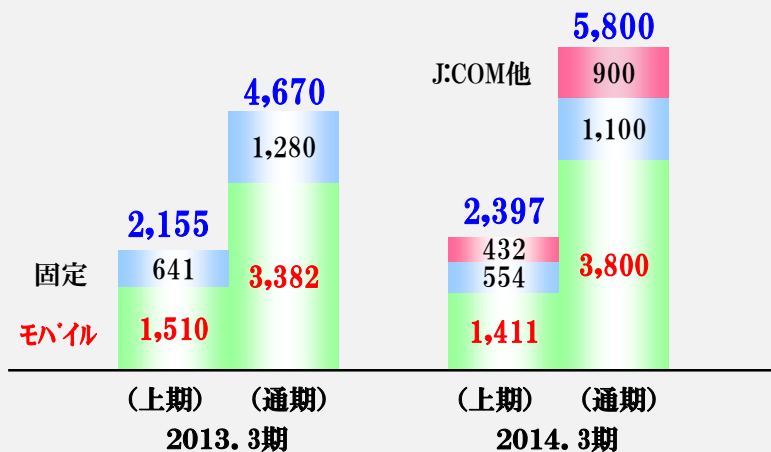


注:2014.3期(通期)は当初予想から変更

## ◆ KDDI ◆

KDDI決算説明会資料より

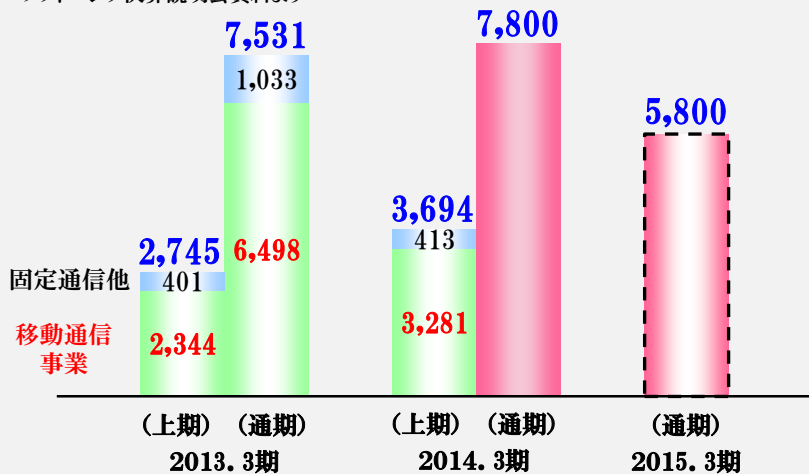
(単位:億円)



## ◆ ソフトバンク ◆

ソフトバンク決算説明会資料より

(単位:億円)



注:設備投資額は2014.3期(上期)までは検収ベースで記載。  
また、2014.3期(上期)のスプリント事業1,635億円は含めていない。

## ◆NTTドコモ◆

- ・2014.3期上期は対前年同期比592億円の減少であるが、前期には重要設備分散化等(災害対策関連)一時的な投資があった
- ・LTEエリアの展開、トラフィックの増加に対応したNW設備投資は強化するとともに年間7,000億円は計画どおり進捗
- ・NWはクアッドバンド(2GHz・800MHz・1.7GHz・1.5GHz)でエリア展開、世界最速150Mbpsを実現
- ・更に第5のバンド700MHz帯運用開始(2015年1月)

## ◆KDDI◆

- ・2014.3期対前年同期比242億円増、進捗率41.3%、モバイル系投資は前期比418億円増
- ・主力の800MHzを中心に競争優位性を強化

## ◆ソフトバンク◆

- ・5年間で投資すべきことを昨年と今年の2年間で前倒し実施
- ・倍速ダブルLTE(2GHz+1.7GHz)からトリプルLTE(+900MHz)へ来春開始

# IV. 構造改革「COMSYS WAY<sup>α</sup>」の進捗状況



COMSYS WAY  
- 構造改革の継続と深化 -

COMSYS WAY<sup>α</sup>  
- 構造改革の”進化”とトップラインの拡大 -

IT事業の採算性向上

新規ビジネスの新たな展開

IT武装化による生産性・効率性の向上

トップラインの拡大

施工ITプラットフォームの構築

**グループ事業運営体制の再構築**

◎モバイル・NW業務

- 2012.10 コムシスマバイル(東京通建、日東通建合併)
  - 1.5年(回収予定)
  - 特損17億円

※(当初)2.5年間で回収予定だったが、予想以上の施工効率改善により1.5年間で回収予定

◎アクセス業務

- 2012.8 八代通建(100%化)
- 2012.10 フォステクノ四国(徳島通建、日電工合併)
- 2013.4 トーシス新潟(トーシス新潟、アクティス合併)

2013.10 つうけんGの再編(つうけん、アクセス系連子5社合併)
 

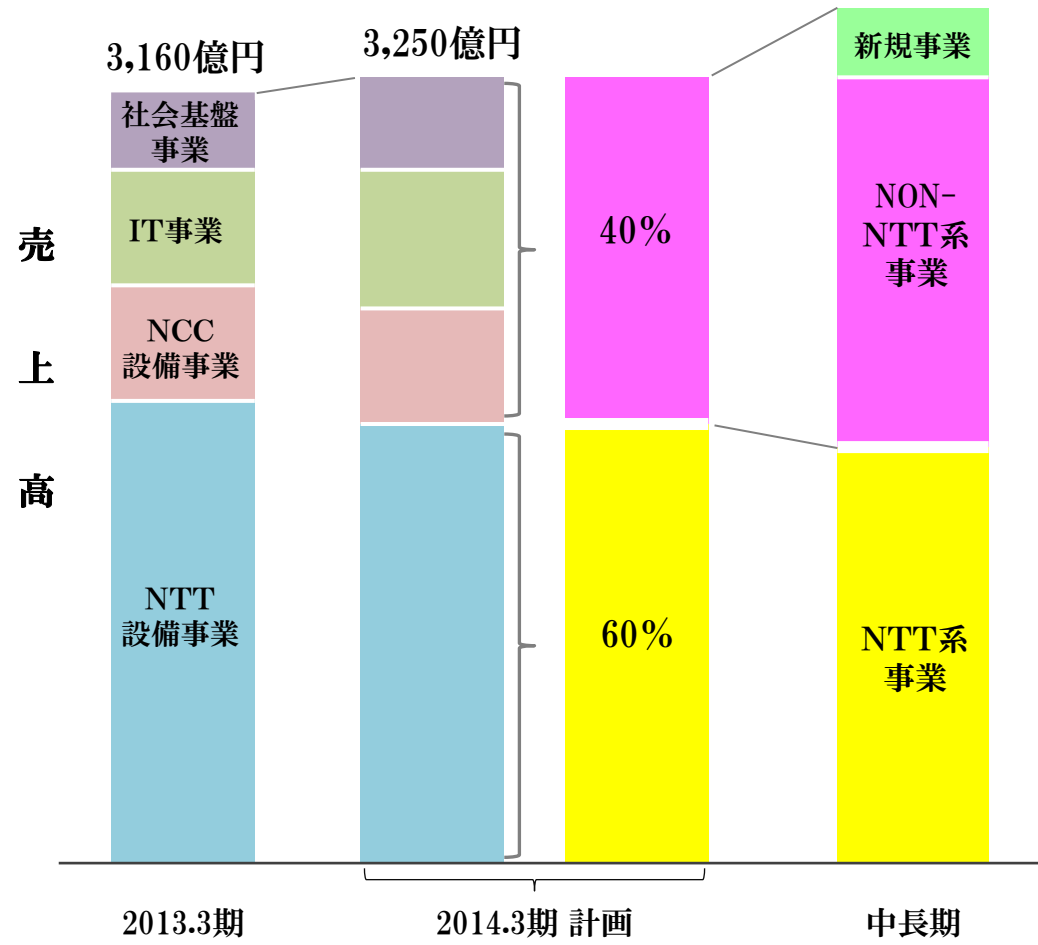
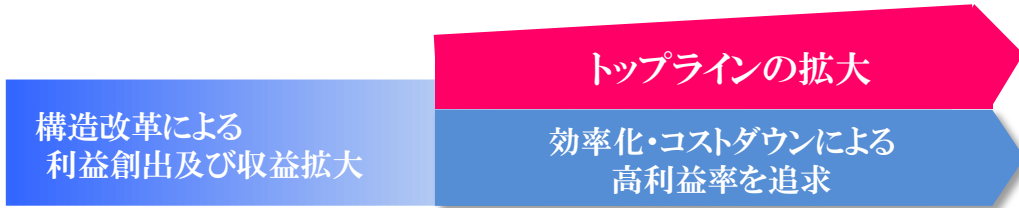
- 2年(回収予定)
- 特損9億円(構造改革費用)

# IV-1. トップラインの拡大施策



COMSYS.HD

※当社2013年3月期決算説明会資料より加筆修正



## 外部環境

- アベノミクス(金融緩和・成長戦略・機動的財政政策)による景気好調の兆し
- 国交省、総務省、経産省による積極的な公共投資
- インフレ・円安対策に伴う民間設備・情報化投資の増大
- 東京オリンピック開催決定

## 新規事業

- グリーンイノベーション事業
- 「技術開発室」の新設による研究・開発の充実
- アライアンス、M&Aによる業容拡大

## NON-NTT系事業

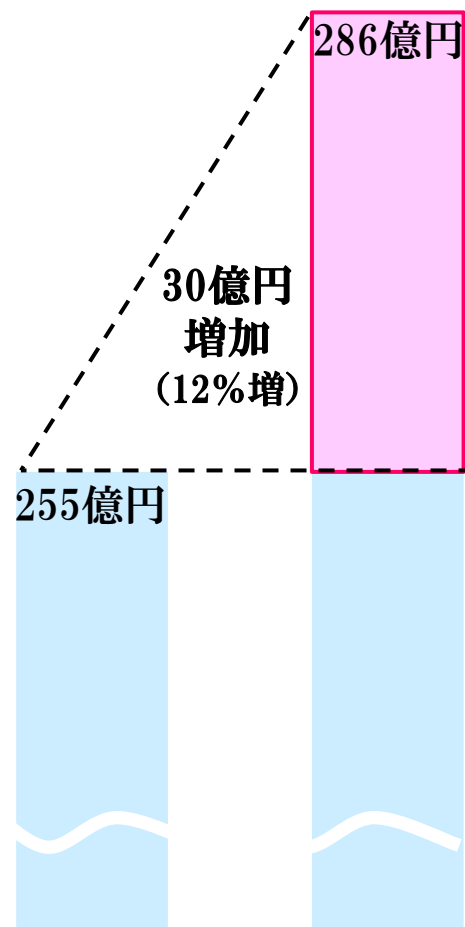
- 都市インフラ整備事業
- 震災復興等事業
- NI・SI技術を活用したダム等基盤設備遠隔監視事業
- アライアンス等による医療・教育分野への拡大
- クラウド市場への拡大
- 東京オリンピック開催決定によるインフラ整備促進
  - ・電線共同溝工事の受注
  - ・老朽化対策と三環状道路整備工事の受注

## NTT系事業

- 「小規模工事」「繰り返し工事」への即応体制の整備
- 設備運營業務(保守・運用業務)のエリア一括請負の拡大
- 施設整備の積極的提案による受注拡大
- 電話線地中化工事の受注
- 三環状道路整備工事等による支障移転工事の受注

## 前期比30億円(12%増)の受注増

ITソリューション事業受注高



前期上期実績

今期上期実績

受注が拡大した分野	コムシスの強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>●アライアンス等による医療・教育分野のシステム構築 大学・病院等のプライベートクラウド構築 (NW、サーバー、ストレージのシステム構築) XP端末更改</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者の育成 (NW、サーバー仮想化)</li> <li>・有力なアライアンスパートナー</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●全国拠点におけるシステム構築 全国拠点のシステム構築 (NW、サーバー、無線AP、PBX等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な全国工事の経験</li> <li>・コントロール機能整備</li> <li>・全国工事体制</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共案件 デジタル消防無線システム構築等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コムシスのインフラ技術</li> <li>・既存お客様とのリレーション</li> </ul>

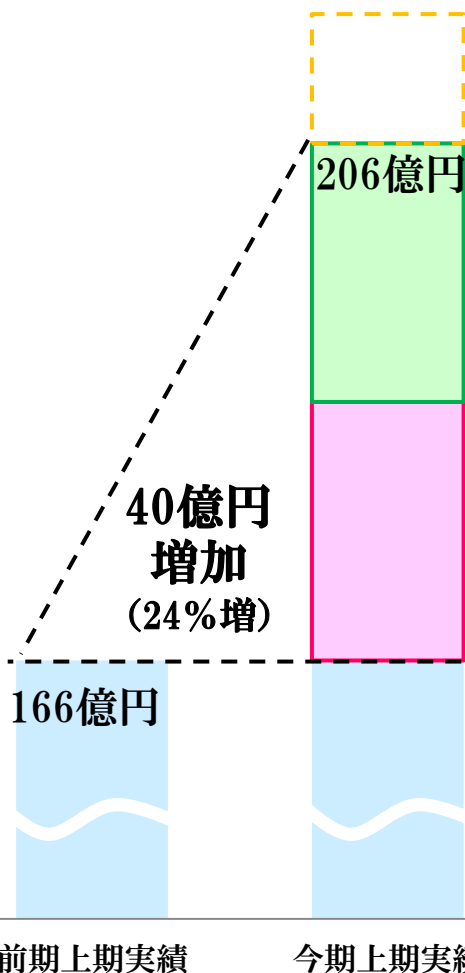
  

<p><b>仕様検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札仕様書作成</li> <li>システム運用方針設計</li> <li>コンサルテーション</li> </ul>	<p><b>アプリケーション開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>.net</li> <li>java</li> <li>モバイルアプリ</li> </ul>	<p><b>プラットフォーム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows</li> <li>Linux</li> <li>Hyper-V</li> <li>VM ware</li> </ul>	<p><b>ネットワーク構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク設計</li> <li>ネットワーク診断</li> <li>ネットワーク監視設計・構築</li> </ul>	<p><b>ハードウェア</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サーバーラック設置 アンカー打ち</li> <li>サーバーマウント</li> <li>LAN電源工事</li> </ul>	<p><b>保守運用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運用設計</li> <li>移行作業</li> <li>障害切り分け・再現試験/検証</li> </ul>	<p><b>機器工事</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サーバー機器廃棄</li> <li>サーバー機器移設</li> <li>空調設備</li> <li>回線契約代行</li> </ul>
---	--	---	--	--	---	---

日本コムシス株式会社 HP

## 前期比40億円(24%増)の受注増、来期以降も期待

社会システム受注高



【来期以降拡大が見込まれる分野】

●来期以降見込まれる無電柱化工事  
(今期10億円程度→来期以降15億円程度)

<市場環境>

2020年東京五輪決定による無電柱化工事の本格化

- ・20年までに東京都の重点区域で無電柱化 (総事業費 780億円規模)
- ・都心部(センター・コア・エリア)から徐々に地方へ拡大(年300億円予算)



CCBOX (電線共同溝)の構築工事

●グリーンイノベーション事業

- ・メガソーラー事業及びEPC事業の拡大(次ページ詳細)

●都市インフラ整備事業

- ・照明設備(LED化)やトンネル防災設備等の工事受注拡大

<市場環境>

老朽化対策と三環状道路の整備

<2013年度の主な受注>

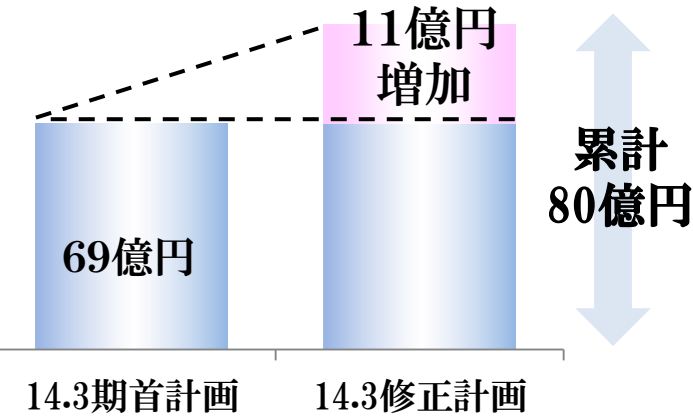
- ・首都高速道路関連工事の拡大

工事名	受注額
(修)照明設備改修工事1-101(西東京)	4.3億円
(修)照明設備改修工事2-101(東東京)	7.3億円
(修)通信設備改修工事25-3-1(神奈川)	2.1億円



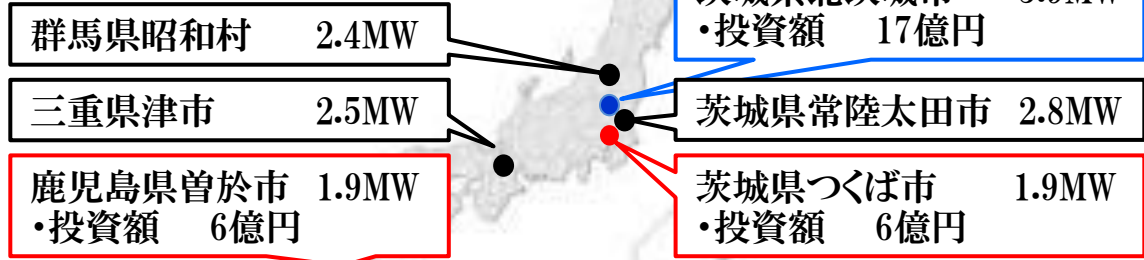
## ◆ メガソーラー事業 ◆

事業投資額を80億円に引上げ



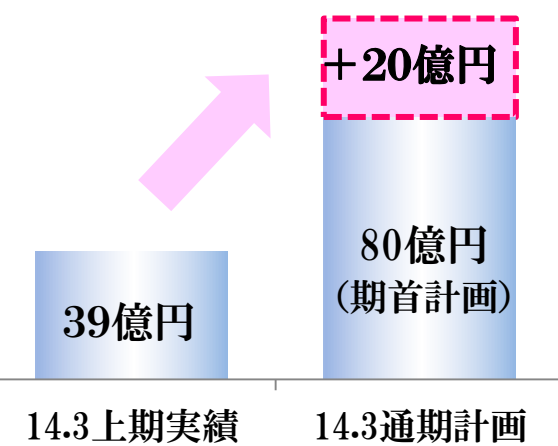
【発電所の建設予定地】

- 稼働中
- 事業化決定
- 事業化検討中



## ◆ 太陽光建設工事事業 ◆

順調な受注で通期100億円を目指す



【主な受注案件】

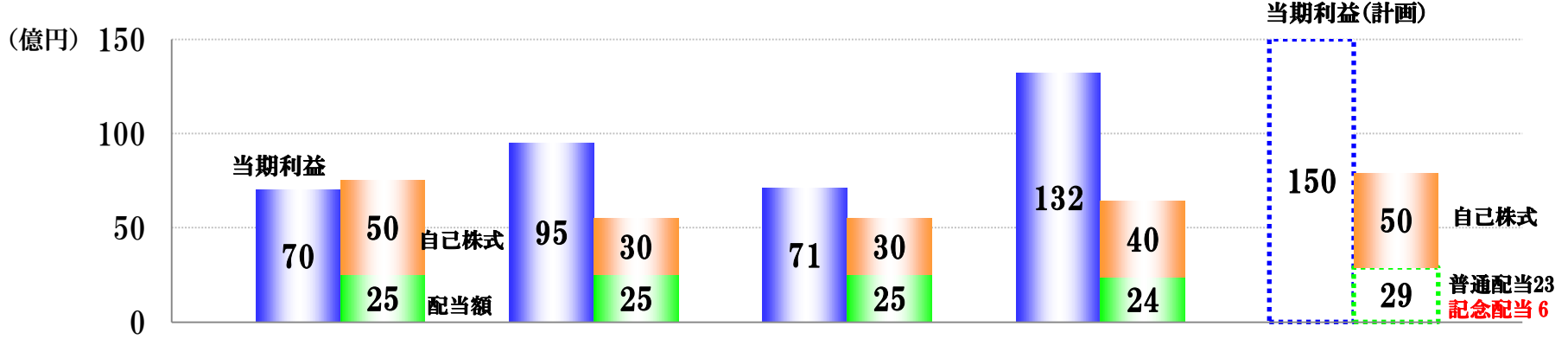
エリア	発電容量	受注額
東北・関東	7.7MW	23億円
東海・近畿	6.8MW	18億円
中国・四国	2.9MW	7億円
九州	10.3MW	27億円



# V. 株主還元施策及び自己株式の状況



COMSYS.HD



		2010.3期	2011.3期	2012.3期	2013.3期	2014.3期(予定)
1株当たり配当金 (年間)	中間	10円	10円	10円	10円	10円
	期末	10円	10円	10円	10円	15円 (普通10円+記念5円)
連結配当性向		36.2%	27.1%	36.0%	18.7%	19.9%
総還元性向 (配当額+自己株式) 当期利益		106.2%	58.3%	77.7%	48.7%	53.3%
自己株式取得		2,027万株 新規分 525万株 (約50億円)	「つうけん」との 経営統合に使用 835万株 1,612万株 新規分 361万株 (約30億円)	1,918万株 新規分 352万株 (約30億円)	2,301万株 新規分 416万株 (約40億円)	2,663万株 新規分 400万株 (約50億円) 上期購入済み

本資料及び本説明会における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んだものであります。

従いまして、実際の業績等は、様々な要因により記載の内容とは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向や競争激化による価格下落圧力などです。

なお、業績に影響を与えうる要因は、これらに限定されるものではありません。



(お問い合わせ先)  
コムシスホールディングス株式会社

I R 部 牧野・青木

TEL：03-3448-7000

FAX：03-3448-7001

Mailto：[chd-ir@comsys.co.jp](mailto:chd-ir@comsys.co.jp)

URL：<http://www.comsys-hd.co.jp/>